

# 平成27年度京都市いきいき市民活動センターに係る管理運営についての評価報告

平成28年10月

京都市市民活動センター評価委員会

平成27年度における京都市いきいき市民活動センターの管理運営に関し、下記のとおり評価を取りまとめたので公表する。

## 記

### 1 評価に当たって

#### (1) 評価委員会の設置目的

京都市市民活動センター評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、京都市が設置した機関であり、京都市市民活動総合センター及び京都市いきいき市民活動センターの管理運営全般に関し、各種事業の実績等に基づいて客観的な評価を行い、課題の解決や改善すべき事項についての助言を行うことを目的の一つにしている。

当評価委員会は、平成15年度から京都市市民活動総合センターの施設運営全般についての評価を行ってきたが、平成23年4月に京都市いきいき市民活動センターが開所されたことに伴い、評価機能を京都市いきいき市民活動センターまで拡充するとともに名称を改めたものである。

#### (2) 京都市いきいき市民活動センターの役割

京都市いきいき市民活動センターは、市民公益活動はもとより、サークル活動など市民活動を幅広く支援していくため、既設の京都市市民活動総合センターを補完し、市民がいきいきと活動できる場所と機会を提供する施設として、平成23年4月に設置されたものである。

京都市いきいき市民活動センターでは、貸館の提供や市民活動の活性化に資する情報の提供を行うほか、地域や市民活動を活性化させるための仕掛けとして、指定管理者が独自にこれらに資する事業を企画・実施することとしている。

この市民活動活性化事業の対象となるものは、

- ・市民活動又は地域コミュニティの活性化を図るための事業
- ・市民活動を支援するための各種講座や研修会等

としており（市民活動活性化事業実施要綱第7条第1項）、

企画・実施については、可能な限り、地域や利用者等からの意見を取り入れながら行うものとし、将来的には企画段階から地域や利用者等の参加を促進する等、協働の取組により進めるものとしている（市民活動活性化事業実施要綱第4条第2項）。

### (3) 評価について

#### ア 評価の基準

平成27～30年度の第2期指定管理期間の初年度となる平成27年度の各センターの活動について、「市民活動活性化事業」の取組内容に関する評価を行うとともに、センター運営に関して、「貸館事業」、「情報の発信」、「業務執行体制」に関する評価を行う。

評価項目	主な着眼点
市民活動活性化事業	○計画の具体性及び独創性 ○幅広い市民の交流を目的として、広く市民の参加が得られるよう努めているか。 ○地域、利用者及びNPOなど他団体との連携 ○事業の広報方法 ○利用者ニーズの把握及び次回事業への反映の方法
貸館事業	○貸館業務を適正に行っているか。 ○公金収納業務を適正に行っているか。
情報の発信	○情報の発信を積極的に行っているか。
業務執行体制	○施設の維持管理を適正に行っているか。 ○職員配置の適正性及び人材育成等 ○管理運営業務に係る経費の取扱い

#### イ 評価の参考とした資料等

##### ① 市民活動活性化事業

計画された全事業を対象として、平成28年度第1回評価委員会での各指定管理者の報告内容、事業実施計画書及び事業実施報告書を基に評価する。

##### ② 貸館事業

京都市が実施した業務及び財務監査内容、実績報告書を基に評価する。

##### ③ 情報の発信

実績報告書を基に評価する。

##### ④ 業務執行体制

京都市が実施した業務及び財務監査内容を基に評価する。

なお、評価については、監査時点での業務執行に係るものである。

#### ウ 評価方法

平成27年度の各センターの評価に当たって、施設規模、地勢、交通利便性、人口構成、歴史的経過等の立地条件や指定管理者の特長等、施設管理運営上の条件がそれぞれ多様であることから、評価委員会による一律の評価軸で評価を行うことは困難であると判断し、センターごとに、評価項目について、文章による記述の評価を行う。

評価については、平成26年度評価を受けて27年度にどのように進展したかという点を踏まえ、センター運営の質の向上につながることを主眼に、評価できる事項、課題となる事項などについて意見を付すこととした。

また、現指定管理期間の今後約3年間の更なる取組の発展に向けて、各センターに対して、「平成28年度以降に向けた助言等」について記載した。

## 2 各センターの評価

### (1) 北いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人くらしネット21）

#### ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業の実施に当たって、まちづくりの専門家の協力も得ながら、企画段階から広く参加を呼びかけ、新たに地域外の団体も加わりワークショップを開催するなど、事業を実施していく姿勢がセンターの設置目的に即している。</li><li>・また、市民活動団体をはじめとする各種団体と連携し、高齢者ふれあいサロンを子どもから高齢者まで多世代が交流できる拠点とする事業に取り組むなど、新たな展開がみられる。</li></ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたが、平成27年度は初めて減少に転じた。</li><li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li><li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li></ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブックに加えて、平成27年度から、新たに、ツイッターを活用した情報発信を始めており、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。</li></ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li><li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li></ul>

#### イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・前年度に比べて事業内容は大幅に充実しており、市民活動支援の趣旨に合致した取組になっている。引き続き、幅広い団体との交流・連携に努め、事業を進めていただきたい。</li></ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・貸館事業については、近隣に立地している大学も多く、需要は多いと思われるので、センターの周知に努め、利用件数の増加に力を入れていただきたい。</li><li>・情報の発信については、フェイスブックやツイッターでの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待する。</li></ul>
--

(2) 岡崎いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人音の風）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの事業も、指定管理者の得意分野・専門分野を活かしたレベルの高い事業であり、市民活動活性化事業の趣旨に合致している。</li> <li>・身近な場所での文化芸術活動の機会の確保や文化芸術を通じた地域の交流を目的に、自治連合会と共催で開催されている事業も、地域の文化交流イベントとして定着するなど、地域との連携も十分に図られている。</li> </ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用件数については、平成27年度から新たに和室を貸室に加えると同時に、ツイッターで空いている時間帯の宣伝を行うなど、利用促進に向けた周知・集客活動により、前年度と比較し大幅に増加している。</li> <li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li> <li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li> </ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、ツイッター、ブログなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。</li> <li>・通りに面したフェンスに掲示・配架用ボードを設置し、通行する市民や観光客に向けてセンターや地域の情報発信を行っている。</li> </ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li> <li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力を高める分野への経費執行に期待する。</li> </ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロームシアター京都をはじめとする様々な文化交流施設が集積する地域性を活かし、センターが文化交流施設と地域住民の架け橋となって、文化芸術を通じた地域の活性化に取り組んでいただきたい。</li> <li>・また、センター利用者や地域住民からの相談をきっかけに、サークル活動から市民公益活動に活動内容を発展させる取組を進めており、引き続き、市民活動の担い手づくりの創出を意識したコーディネーターとしての機能を果たしていただくことを期待する。</li> </ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信については、ホームページやフェイスブック、ツイッター、ブログでの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待する。</li> </ul>
--

### (3) 左京東部いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人劇研）

#### ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度から新たに指定管理者となり、長らく開催されていなかった盆踊り大会を地域の各種団体と連携して取組を進め、年齢や国籍、地域を越えて多数の参加者を集めて開催され、多世代交流、地域内外の交流を深められたことは、市民活動活性化事業の趣旨に合致している。</li> <li>左京西部いきいき市民活動センターの指定管理業務を受託している強みを活かし、同センターで実施してきた高齢者の交流事業を、おさんぽコレクションで同じチームになったセンターと合同で開催するなど、センター間の連携に力を入れている点は評価できる。</li> </ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用件数については、平成27年度から新たに会議室を1室増やすとともに、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことより、前年度と比較し大幅に増加している。</li> <li>利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li> <li>公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li> </ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設案内パンフレットやホームページを充実させるとともに、平成27年度から、新たに、フェイスブックや広報誌「いきいき通信」による情報発信を始められており、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。</li> </ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li> <li>収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li> </ul>

#### イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に比べて事業の内容は大きく向上しており、盆踊り大会について、将来的に、地域住民が主体となって取り組むことを想定して実施していることは、市民活動支援のあるべき姿である。</li> <li>引き続き、左京西部いきいき市民活動センターをはじめ、他のいきいき市民活動センターとの連携を進めることにより、いきいき市民活動センター全体の底上げを図っていただきたい。</li> </ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の発信については、フェイスブックでの情報発信・更新頻度は高く、また、広報誌も定期的に発行されるとともに、ホームページにも掲載されており、継続した取組を期待する。</li> </ul>
---

#### (4) 左京西部いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人劇研）

##### ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回想法という思い出を上手に蘇らせる手法を用いることにより、高齢者の生きがいづくりや健康づくりを図るとともに、多世代交流にもつなげるなど、地域の課題に正面から取り組まれていることは評価できる。</li> <li>・上述の事業以外に、地域の魅力を再発見する事業や保育所と連携した事業など、実施されている事業はいずれも市民活動活性化事業の趣旨に合致したものとなっている。</li> </ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用状況については、平成27年度から新たに会議室を1室増やすとともに、様々な形で情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたことより、前年度と比較し大幅に増加している。</li> <li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li> <li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li> </ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設案内パンフレット、広報誌「いきいき通信」、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、ブログなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。</li> </ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li> <li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っているが、これまでの経験を活かし、施設の魅力を高める分野への経費執行に期待する。</li> </ul>

##### イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでからレベルの高い事業を実施されているが、今後は、交通の利便性がよく、大学に近い立地条件を活かし、学生など若者を巻き込んだ取組や、地域団体の主体的な参加などを念頭に、新しい担い手づくりの育成を意識した後方支援的な取組を積極的に進めていただくことで、より進化した展開を期待する。</li> <li>・また、新たに指定管理業務を受託された左京東部いきいき市民活動センターをはじめ、他のいきいき市民活動センターとの連携を進めることにより、いきいき市民活動センター全体の底上げを図っていただきたい。</li> </ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信については、フェイスブックでの情報発信・更新頻度は高く、また、広報誌も定期的に発行されるとともに、ホームページにも掲載されており、継続した取組を期待する。</li> </ul>
--

(5) 中京いきいき市民活動センター（指定管理者：一般財団法人京都府部落解放推進協会）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・年間を通して、地域住民、センター利用者、市民活動団体の交流などを目的とした多彩な事業を展開されており、事業の広がりがみられる。</li><li>・料理を作るという参加者が打ち解けやすい事業を実施したあとに、共通の課題をもつ市民活動団体が交流する事業を実施したり、身近な問題をテーマに市民活動団体と地域の高齢者が気軽に話ができる事業を実施するなど、市民活動の支援に向けた新たな事業を実施していることは評価できる。</li></ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し大幅に増加している。</li><li>・利用者の満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li><li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li></ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設案内パンフレットやホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。</li><li>・また、利用者からの要望に応え、新たに、館内に掲示板及びチラシ配架ラックを設置するなど、情報発信の幅を広げようとする努力がみられる。</li></ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li><li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li></ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・総合センターのアドバイスも得ながら、企画段階からNPO等他団体と連携し市民活動のきっかけづくりに取り組むなど、前年度から一歩踏み出した取組を実施されており、引き続き、市民活動活性化事業の趣旨に合致した取組を進めていただきたい。</li></ul>
<p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報の発信については、多様な媒体を活用して最新の情報を発信されることを期待する。</li></ul>

(6) 東山いきいき市民活動センター（指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・メディアを切り口にした事業や、ワークショップを活用したセンターの魅力を高める事業などを実施するとともに、地域の課題にも目を向け、周辺地域の実情把握などの事業にも取り込まれるなど、市民活動活性化事業の趣旨に合致した多彩な事業を実施されている。</li><li>・また、スモールオフィス入居者との連携事業にも取り組んでいることは評価できる。</li></ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたが、平成27年度は初めて減少に転じた。</li><li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li><li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li></ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設案内パンフレット、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。</li><li>・利用者や地域住民と連携して、センターや地域情報を発信するラジオ放送を行ったり、市民活動団体が自ら情報発信を行うための講座を開催するなど、市民活動団体や地域社会の発信力を高める取組を実施している点は評価できる。</li></ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li><li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li></ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・これまで課題であった地域の課題に目を向ける取組を始められており、引き続き、地域の結びつきを強める取組を進めてほしい。</li></ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・貸館事業については、交通の利便性が非常に高く、市内一円からの利用が見込まれる場所に立地しており、市民の利用ニーズは高いと思われるので、センターの周知に努め、早急に利用件数の増加に力を入れていただきたい。</li><li>・また、センターの運営に当たっては、利用者の目線に立った運営を心がけていただき、利用者とともに歩むセンターを目指していただきたい。</li><li>・情報の発信については、フェイスブックやツイッターの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待する。</li></ul>
--



(7) 下京いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人崇仁まちづくりの会）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	・従来からの地域に根差した事業を安定して実施されるとともに、総合センターのアドバイスも得ながら、市立芸術大学や下京青少年活動センターをはじめとする地域内外の各種団体と連携し、事業に取り組まれるなど、新たな展開がみられる。
貸館事業	・施設の利用件数については、平成27年4月にセンターの別館を下京青少年活動センターに転用したことにより、大きく減少しているが、新たに会議室を1室増やすなど、活動場所の提供に努めており、本館だけで比較すると、前年度と比較し、大幅に増加している。 ・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。 ・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。
情報の発信	・施設案内パンフレットやホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。
業務執行体制	・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。 ・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年4月に、地域内に若者の活動の拠点となる下京青少年活動センターが加わり、また、将来的に市立芸術大学が移転するなど、地域が大きく変動していく中で、これまで地域で積み重ねてこられた伝統については継承していただくとともに、周辺も含めた地域全体の発展に向けた取組についても進めていただきたい。</li><li>・また、交通の利便性が非常に高く、地域住民以外にも多くの人の流れのある立地条件を活かし、国際交流など、広い視野、新しい発想をもった事業の展開や、市立芸術大学との連携により、学生など若者を巻き込んだ取組に期待する。</li></ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報の発信については、多様な媒体を活用して最新の情報を発信されることを期待する。</li></ul>
---

(8) 吉祥院いきいき市民活動センター（指定管理者：特定非営利活動法人ふれあい吉祥院ネットワーク）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・「吉祥院ふれあいジャンボリー」では、年々、実行委員会の参画団体が増えており、地域に根付いた取組と言える。</li><li>・平成26年度から新たな取組として実施している「いきセンスクール」では、講師を公募するとともに、多様な世代を対象に年間を通して実施されるなど、事業に広がりが見られる。</li></ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し大幅に増加している。</li><li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li><li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li></ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設案内パンフレット、広報誌「いきセンだより」、ホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。</li></ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li><li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li></ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・六斎念仏の保存継承という地域独自の資源を有していることから、その利点を活かした新たな事業の展開を期待する。</li><li>・近隣のいきいき市民活動センターとの連携を意識した取組を積極的に進めていただくとともに、市民活動活性化事業等の実施に当たっては、センターを有効に活用していただきたい。</li></ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報の発信については、広報誌を定期的に発行されており、今後は、多様な媒体を活用して最新の情報を発信されることを期待する。</li></ul>
---

(9) 上鳥羽北部いきいき市民活動センター（指定管理者：京都市中唐戸児童館運営委員会）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・エコ学区として認定されている上鳥羽学区に立地していることから、環境にやさしい取組を地域に広める中核施設として、地域内外の団体と連携して、エコの視点を加えた多彩な事業を年間を通して展開されていることは評価できる。</li><li>・交通利便性等の立地条件に制約があるなか、児童館や近隣に所在するセンター等と協力・連携しながら、地域に密着した取組が行われている。</li></ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し大幅に増加している。</li><li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li><li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li></ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設案内パンフレットやホームページによる情報発信に加え、平成27年度から、新たに、広報誌「ニュースレター」による情報発信を始められている。</li></ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li><li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li></ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後も、NPO団体や地域団体等と連携して、「環境」をキーワードにした市民活動の活性化に取り組んでいただくとともに、地域の課題やニーズを引き出す取組や、センターとともに事業を実施し、発信する担い手づくりにも力を入れていただきたい。</li><li>・また、近隣のいきいき市民活動センターとの連携を意識した取組を積極的に進めていただくことにより、新たな視点での事業展開を期待する。</li></ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報の発信については、ホームページにて、事業の開催案内及び開催結果を適宜発信されるとともに、広報誌を定期的に発行されており、今後は、多様な媒体を活用して発信されることを期待する。</li></ul>
---

(10) 上鳥羽南部いきいき市民活動センター（指定管理者：株式会社丸起）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・交通利便性等の立地条件に制約があるなか、保育所や近隣に所在するセンター等と協力・連携しながら、地域密着型の事業に取り組まれている。</li><li>・センターが実施する事業からサークル活動を生み出し、自主的な活動につなげていくという取組は、「市民の主体的な活動を支援する」というセンターの趣旨に合致している。</li></ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し大幅に増加している。</li><li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li><li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li></ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設案内パンフレットやホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。</li></ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li><li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li></ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後は、センターが事業の企画・立案を行う比重を減らし、企画段階から地域やNPO団体等と連携を図りながら事業を展開していくよう努められるとともに、市民活動の支援のための人材育成に努められたい。</li><li>・また、近隣のいきいき市民活動センターとの連携を意識した取組を積極的に進めていただくことにより、新たな視点での事業展開を期待する。</li></ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報の発信については、多様な媒体を活用して最新の情報を発信されることを期待する。</li></ul>
---

(11) 久世いきいき市民活動センター（指定管理者：地域環境整備みどりの会）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・年間を通して事業を展開されるなど、これまでの指摘を踏まえた事業の改善に取り組まれていることは評価できる。</li><li>・地域団体や施設利用団体と連携して事業を行うなど、近隣住民への「サービス」的事業から「市民活動を支援する」というセンターの役割を踏まえた事業にシフトしようとする努力が見られる。</li></ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動に努めたが、平成27年度は減少に転じた。</li><li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、全体としては良好という評価が過半数以上であったが、接遇の態度や説明の仕方については改善の余地がある。</li><li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li></ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設案内パンフレットやホームページなどを活用した情報発信に取り組んでいる。</li></ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li><li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li></ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事業の実施に当たっては、地域がもつ課題の解決に向けて、企画段階からNPO団体等との連携を図りながら、若者など新たな参加者を取り込む事業を進めていただくとともに、市民活動の支援に精通した人材の育成に努められたい。</li><li>・また、近隣のいきいき市民活動センターとの連携を意識した取組を積極的に進めていただくことにより、新たな視点での事業展開を期待する。</li></ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・貸館事業については、交通利便性等の立地条件に制約があり、地域外からの利用が難しい状況にあるが、地域を中心にセンターの周知に努めていただくことにより、利用件数の増加に力を入れていただきたい。</li><li>・情報の発信については、ホームページにて、事業の開催案内及び開催結果を適宜発信されており、今後は、ツイッターやフェイスブック等のSNSを活用するなど、多様な媒体を使った情報発信に期待する。</li></ul>
--

(12) 醍醐いきいき市民活動センター（指定管理者：株式会社ワン・ワールド）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域づくりの担い手の発掘という課題に正面から取り組まれ、きっかけづくりから育成、活動の場の提供といった人材育成のサイクルを作って事業を展開されており、プログラムとしての完成度も高く、他のセンターのモデル事例にもなりうる取組となっている。</li><li>・参加者が実施主体となっている事業も多く、市民の主体的な活動を支援するという、センター本来の役割を意識した取組を進めている。</li></ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し増加している。</li><li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li><li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li></ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設案内パンフレットや広報誌「だいがいきいきタイムズ」、ホームページ、フェイスブックなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。</li></ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li><li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li></ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域のニーズや課題の把握に努め、醍醐支所等と緊密な連携を図りながら、地域の自発的な活動を生み出す事業を実施されており、引き続き、まちづくりの課題解決に向けた取組を進められ、地域とともに歩む施設を目指してほしい。</li></ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報の発信については、ホームページやフェイスブックでの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待する。</li></ul>
--

(13) 伏見いきいき市民活動センター（指定管理者：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所）

ア 平成27年度の評価

評価項目	附帯意見
市民活動活性化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題の把握に努めたうえで、高齢者の孤独化や子どもの貧困問題など、社会の重要な課題に対して積極的に取り組んでいることは大いに評価できる。</li> <li>・大学生と連携した事業を積極的に展開し、学生が主体となって地域で活動する場を生み出すとともに、事業の実施に当たっては、若いスタッフが多数にもかかわらず、市民の主体的な活動を後方から支援するというセンターの本来の役割を意識して取組を進めている。</li> <li>・高齢者ふれあいサロンを、従来の憩いの場としての機能に加えて、元気なシニアが活躍できる場所としての活用を図るなど、高齢者の居場所づくり・生きがいづくりにつながる事業を実施されており、他のセンターのモデルとなるような一歩先に進んだ取組となっている。</li> </ul>
貸館事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用件数については、様々な形での情報発信や事業の実施などの周知・集客活動により、前年度と比較し大幅に増加している。</li> <li>・利用者満足度は、来館者に対する窓口サービス調査の結果、概ね良好である。</li> <li>・公金収納業務については、会計検査等で若干の不備は指摘したが、概ね適正に行われている。</li> </ul>
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設案内パンフレットやホームページ、フェイスブック、ツイッターなど、多様な媒体を活用した情報発信に取り組んでいる。</li> </ul>
業務執行体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理及び職員の配置基準については、概ね問題なく行われている。</li> <li>・収支状況については、管理運営業務の適切な執行のために必要な経費支出を効率的に行っている。</li> </ul>

イ 平成28年度以降に向けた助言等

<p>①市民活動活性化事業をはじめとする事業全般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、大学生の活用や、区役所・地域団体等との連携を図ることにより、地域を支える取組を進めていただくとともに、高齢者ふれあいサロンについても、これまで担ってきた機能を発展・拡充させ、高齢者から若者まで様々な世代が集う「多世代交流拠点」としての活用を進めていただきたい。</li> </ul> <p>②施設管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信については、フェイスブック、ツイッターでの情報発信・更新頻度は高く、常に最新の情報提供が行われており、継続した取組を期待するとともに、広報誌についても、定期的な発行をお願いしたい。</li> </ul>
--

### 3 まとめ

#### (1) 施設の利用状況について

いきいき市民活動センター（以下「センター」という。）は、平成23年度の開設から5年目となり、この間、各センターでは、施設案内パンフレットやホームページ、各種SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報の発信、市民活動に資する情報の提供、市民活動活性化事業の実施など、指定管理者の特長や地域性に応じた独自の活動に積極的に取り組んできた。

その結果、貸館利用件数は、開設以来、年々増加しており、平成27年度の件数は、センター転用前の平成22年度と比較すると、約3.7倍と大幅に増加している。

これは、市民活動やコミュニティ活動の場を求めている市民ニーズとセンターの設置趣旨が合致したこと、また、センターが市民活動の拠点となる施設として多くの利用者から認知されつつある結果であり、市民活動を幅広く支援していくという当初の目的は達成できつつあると考えられる。

#### (2) 管理運営全般に対する評価及び助言について

各センターにおいては、「2 各センターの評価」のとおり、各センターが継続して発展していただくための改善や工夫・充実を期待する。

第2期指定管理期間の1年目となる平成27年度は、「おさんぽコレクション」を通じたいきいき市民活動センター間の連携が図られたほか、「合同研修会」を通じた市民活動総合センターとの連携が図られるなど、第1期指定管理期間では生まれなかった連携が新たに行われたところである。

指定管理期間の2年目となる平成28年度については、引き続き、利用者のニーズや地域の実情把握等に努めながら、指定管理者の特長やこれまでに蓄積されたノウハウを活かし、市民活動を幅広く支援していくという目的のもと、施設のコンセプトである地域や施設利用者との「交流」・「協働」を通じ、それぞれが特色ある施設へと更に「進化」することを目指し、以下の項目について重点的に取り組んでいただきたい。

##### ア 全般について

各センターの取組について、地域住民に対するサービスの提供にとどまるのではなく、「市民の主体的な活動を支援する」ことがセンターの役割であることを常に念頭に置きながら、事業の実施や施設の管理運営に臨んでいただきたい。

また、各センターが地域とつながり、交流・協働の取組を行っていくうえで、市民の身近な存在である区役所・支所との連携が、地域ニーズの把握や課題の解決にも結び付くことから、今後は、区役所・支所との連携についても積極的に進めていただきたい。

##### イ 市民活動活性化事業について

市民活動の更なる活性化に向けて、以下の4点に留意し取り組んでいただきたい。

- ① 事業の実施に当たり、企画段階から、センター利用者、地域の各種団体、NPO、大学、区役所・支所等の他団体との連携を図るなど、多様な団体とのネットワークを構築することで、市民活動の基盤や土壌を広げていくことを期待する。
- ② 各センターや市民活動総合センターとの交流・連携を更に積極的に進め、事業を実施するうえでの経験や知識の共有を図ることにより、新たな視点からの事業の展



開や事業の質の向上，人材の育成などに取り組んでいただくことを期待する。

- ③ 多くのセンターでは夏祭りのような大規模なイベントが行われているが、イベント当日に多くの参加者を得るだけでなく、参加者が今後の活動の「きっかけ」を得られるような日常的な取組や、そこから自主的な市民活動につながっていくような展開を意識した「育成」や「支援」の取組など、後方支援的な取組を進めていただきたい。

また、まちづくりや高齢者支援，子育て支援，環境保全などの社会的課題に取り組んでいる団体に対しての支援など，事業の質の向上についても進めていただくことを期待する。

- ④ 各地域とも高齢化が進んでいる状況を踏まえ，施設の有効活用の観点から，高齢者ふれあいサロンについて，既存の利用者との調和を図りながら，高齢者の居場所づくり・生きがいづくり・多世代交流につながるような事業の実施など，これまでサロンが担ってきた機能を充実・発展させる取組についても検討していただきたい。

## ウ 情報の発信について

施設案内パンフレット及びホームページによる情報発信は，全てのセンターで行われているので，今後は，広報誌，掲示板，回覧板，各種SNSなど多様な媒体の活用を積極的に図るとともに，発信内容についても，更新頻度を高めていただき，常に最新の情報を提供することを心掛けていただきたい。

また，市民活動総合センターのホームページにも各いきいき市民活動センターを紹介するページが作成されたが，単なる施設紹介にとどまらず，情報発信面での連携の強化を図るとともに，効果的な発信方法についても検討していただきたい。

## エ 業務執行体制について

業務及び財務監査の指摘を踏まえ，特に次の2点について確実な実施を求めるものである。

- ① 公金収納業務については，概ね適正に行われているが，処理のミスが一部見受けられたため，複数による照合と確認により丁寧・確実な処理に努めていただきたい。
- ② 職員の配置基準については，概ね問題なく行われているが，引き続き，執行体制の遵守を徹底していただきたい。

指定管理者は，施設管理運営の適格性があるものとして選定されていることを自覚のうえ，協定・仕様書を遵守し，必要な改善を行い，遺漏のないよう確実に取り組んでいただきたい。

なお，京都市は，監査で把握した事項を中心に，今後も継続して監査を実施し，適正な業務や管理が維持されるよう指導していく必要がある。

## オ その他

環境への負荷の少ない持続可能なまち「環境共生型都市・京都」の実現に向けて取り組んでいる京都市の地域における最前線の公の施設として，各センターの管理運営に当たっては，エネルギー使用の削減や環境配慮品の購入，各センターのごみの減量・リサイクルの推進など，環境に配慮した取組を積極的に推進していただきたい。

また、イベント等の開催に当たっては、京都市の「エコイベント」として登録して実施するように努めていただきたい。

#### 4 評価委員

吉田 忠彦（近畿大学経営学部経営学科教授）＜委員長＞  
中井 歩（京都産業大学法学部教授）＜副委員長＞  
伊豆田 千加（特定非営利活動法人子育ては親育て・みのりのもり劇場理事長）  
岡 仁美（市民公募委員）  
重野 亜久里（特定非営利活動法人多文化共生センターきょうと代表）  
土江田 雅史（公認会計士）

#### 5 実施経過

##### （1）平成28年度第1回京都市市民活動センター評価委員会

日 時 平成28年6月1日（水）  
場 所 東山いきいき市民活動センター  
内 容 平成27年度いきいき市民活動センター市民活動活性化事業の報告

##### （2）平成28年度第3回京都市市民活動センター評価委員会

日 時 平成28年7月27日（水）  
場 所 北いきいき市民活動センター  
内 容 平成27年度いきいき市民活動センター評価報告案の検討

＜参 考＞ 平成27年度市民活動活性化事業一覧

センター	事業	内容
北	楽只夏まつり	地域団体や利用団体、NPO、大学等が共同で企画・実施する夏まつりを開催することで、学区内外の交流を促進し、活気ある地域づくりに繋げる。
	北いきセン創作ワークショッププロジェクト	「1000KITA プロジェクト」や大学と連携した事業を実施することで、地域のまちづくりを高める機会とする。 ①地域のマスコットキャラクターの作成、②絵本創作ワークショップ
	高齢者ふれあいサロン活性化プロジェクト	市民活動団体等と連携し、高齢者ふれあいサロンが多世代交流や居場所、生きがいつくりの空間となることを目指し、サロンの活用方法を考えるワークショップを実施する。
	第4回市民活動交流会(「放っておけない!」「盛り上げたい!」若者・地域・大学むすびあう)	学生等の若い世代に地域の課題やまちづくりに取り組む面白さや魅力を感じてもらうとともに、若い世代に活動に参加してほしいNPO団体等の参考になるよう、取組団体からの報告やパネルディスカッションを行う。
岡崎	レコード楽譜図書館Ⅲ	市民の方々に楽譜やレコードを寄贈いただき、レコード楽譜図書館を実施している。今回は第3弾として、市民企画によるレコードを聴く会等を開催する。
	アートパフォーマンス in OKAZAKI	センターの庭に舞台を作り、利用者等が日頃の成果を発表できるイベントを開催することで、岡崎地区の賑わいの創出や地域の交流促進を図る。
	大学学生連携事業	大学生や利用者、地域住民の方にまちづくりや市民活動への参加のきっかけを提供する。 ①センターの景観等についてのワークショップ、②センター事業検討委員会など
	岡崎歌声クラブ	地域の中高年を対象に、歌唱を通じた健康づくりや相互交流を促す。
	夏の岡崎いきセン紹介月間	7・8月をセンター利用団体の紹介月間とし、紹介チラシの作成や体験講座を開催することで、活動団体間の交流や市民活動への参加のきっかけづくりを行う。
	レコード楽譜図書館Ⅳ	市民の方々に楽譜やレコードを寄贈いただき、レコード楽譜図書館を実施している。今回は第4弾として、市民企画によるレコードを聴く会等を開催する。
	クリスマスにゴスペルソングを歌おう	ゴスペルコーラスを通して世代や性別、地域を超えた相互交流や、市民活動への参加のきっかけづくりを行う。 今回は東山いきセンと連携して開催し、各センター利用者の交流を深める。

岡崎	わいわい文化祭	自治連合会と共同して、歌や踊りの発表など地域の文化祭を実施することで、地域の輪を広げ、絆を深くする。
	京都おさんぽコレクション (岡崎・下京いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩き。 テーマ:「ツウの人も初めての人も楽しめる大人の Deep 京都見どころ案内」 京都検定1級の京都案内人が紹介するこだわりのスポットを巡るまち歩き。
左京 東部	地域活性型アマチュア楽団育成ゼミ	地域貢献型の地域楽団の育成を通じて、地域行事等を支えるボランティアとして活躍してもらうことで、世代間交流の担い手づくりや、地域活動参加へのきっかけづくりを行う。
	高齢者との交流プロジェクト「まちの思い出展示会」	話を共感的に受け入れる姿勢で傾聴する回想法を用いて、主に高齢者の方に思い出話を聞き、エピソードや写真のパネル展示や、思い出の地をまとめた地図を作成する。
	復活！錦林盆踊り大会 2015	以前は地域で大変な盛り上がりを見せていた盆踊りを、地域の高齢者や若い世代、ミュージシャン等が連携して盆踊り大会を復活させ、地域住民と参加者等との連携を深める。
左京 西部	「地域の魅力を伝える」地域メディア制作プロジェクト	地域の魅力を再発見・再認識するためのまち歩きや、地域の魅力を発信するためのワークショップ等を開催し、「編集」という手法を通して、MAP や冊子等の記録・形にする。
	高齢者との交流プロジェクト「まちの思い出展示会」	話を共感的に受け入れる姿勢で傾聴する回想法を用いて、主に高齢者の方に思い出話を聞き、エピソードや写真のパネル展示や、思い出の地をまとめた地図を作成する。
	少年少女・スタンブ・ウォールペインティング	「アートで町を美しくする」をコンセプトに、地域児童と保護者を対象に近隣の保育所の塀を飾るウォールペインティングを実施し、地域の美化意識・まちづくりの意識を高める。
	京都おさんぽコレクション (北・左京西部いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩きを実施する。 テーマ:「タイムスリップ・ウォーキング 思い出のまちめぐり」 昭和のまちの様子に想像を巡らすまち歩き。
中京	春のいきいきトレッキングツアー	トレッキングツアーを通して、センター利用者や市民活団体など参加者同士の交流を図ることで、市民活動の活性化を目指す。
	あかしやふれあい盆踊り大会	盆踊りや近隣中学校による演奏、施設利用者等の発表などを通して、地域と参加団体との交流・親睦を深め、各種団体の活動の活性化に繋げる。
	交流事業「そば打ち体験をしよう！」	共通の課題をもった市民活動団体や NPO 団体等が交流する事業を実施することにより、今後の活動の活性化を図る。今回は、介護の際に必要な料理にスポットを当てた事業を実施する。

中京	交流事業 中京から広めよう「ザ・イドバタカイギ」	料理を作りながら初対面でも気軽に話ができる雰囲気をつくり、その後に NPO 団体等を講師に迎え、テーマに沿って参加者全員が話せる場を作る。
	交流事業 餅つきのつどい～日本の食文化に触れる～	センター利用団体や地域の高齢者から指導を受けながら、餅つきや餅料理を学び、日本の伝統的な食文化を通して世代間交流を図る。
	交流事業 中京から広めよう「ザ・イドバタカイギ」子育て編	センターを利用している子育てサークル等の協力を得て、食育講座や、時短メニューを作ったあとに、「子育て」をテーマに身近な問題や思いを参加者と語り合う。
	京都おさんぽコレクション (中京・東山いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩きを実施する。 テーマ：「まち歩き発見！三条通りの歴史を辿る～西高瀬川・材木・三条商店街の今と昔～」 三条通りの歴史を辿りながら現在のまちを知るまち歩き。
東山	「ラジオ」放送プロジェクト	施設利用者・住民参加型でラジオ番組の制作を実施し、地域の魅力を広く発信する。
	公共空間 Re モデルプロジェクト	センターの利便性や居心地の良さの向上を目指して、館内のレイアウトや誘導サインのデザインを考えるワークショップを実施する。
	「まちのデザインを考える」プロジェクト	地域子ども達や高齢者が集う体験型交流事業の実施を通じて、地域の現状把握やニーズ調査、ヒアリング調査を行い、地域の在り方を考えていく。 ①学童保育所との連携事業（夏祭り）、②大学生との連携事業（写真展）、③京都・弥栄暮らし絵屏風講演会、④認知症安心サポーター講座
メディアプロジェクト	地域団体やサークル等の情報発信力の向上を目的として、メディアをキーワードに、最新技術を使った情報発信の仕方などを学ぶ講座等を開催する。 ①センター利用団体やスモールオフィス入居団体等と連携した参加型体験イベント、②情報発信力を向上させる講座、③センター利用団体の広報誌作成、④ラジオや SNS 等を活用した利用団体の情報発信	
下京	楽市・洛座春まつり	まちづくりの一環で復元された鉾の巡行や施設利用団体による活動紹介、模擬店などにより施設利用者や地域住民の交流を図る。
	花やグリーンと仲良くなってみませんか～ガーデニング～	児童館や包括支援センター、施設利用者と連携し、センターのベランダに草花を植え、来館者の憩いのスペースを作る。また、緑化活動をしている団体の情報発信なども行う。

下京	東日本の方々とながら万華鏡づくり	震災支援に取り組んでいるNPO等と連携し、支援の取組説明や、被災地に送付する万華鏡作りを行うことで、同じ目的を持った市民団体等との相互交流を図るとともに、参加者の市民活動のきっかけづくりを行う。
	樂市・洛座夏まつり	地域各種団体による模擬店やフリーマーケット、サークル等による演奏会などにより施設利用者や地域住民の交流を図る。
	文化祭	市民活動団体や施設利用者等の活動成果や、地域のまちづくり活動の発表の場を作る。
吉祥院	吉祥院いきセンスクール	公募により講師を集め、各種講座を行うことで、利用者の増加・交流の促進を図る。 ①夏休み工作、②世界の文化と料理を知ろう、③バレンタイン講座、④いきセンハーモニー（歌で脳を活性化）
	六斎を浴衣で巡る2015	地域の伝統芸能「六斎念仏」の保存継承を図るための取組を実施する。 ①センター別館「六斎歴史資料展示室」の特別展示会、②六斎念仏の歴史に関するレクチャーや、太鼓・笛などの実演、③参加者が浴衣を着て吉祥院天満宮での六斎奉納を見学
	吉祥院ふれあいジャンボリー2015	地域団体が連携して、各種団体の活動発表やステージ、模擬店などを実施するフェスタを開催することにより、地域の交流やネットワークの構築を図る。
	吉祥院ふれあいひろば2015	センター利用団体等が日々の取組や活動を発表する展示ブースやステージ公演を実施することで、利用団体と地域との交流やセンターの周知に繋げる。
上鳥羽北部	上鳥羽いきいきエコ講座	エコ活動をしているNPO団体等とエコ体験・学習の講座を実施し、環境に優しい地域づくりの担い手を育成する。 ①グリーンカーテン講習会、②シェアエアコン、③風呂敷ラッピング教室、④雨水タンクの設置
	上鳥羽夏の夜市（夏祭り）	地域の各種団体が連携し、模擬店や各種行事を行うことで、住民相互の交流の場を作り、近隣住民を巻き込んだ地域の活性化を目指す。
	ハッピークリスマス	児童館と連携し、利用団体やNPO、各種団体等による発表会を開催することで、参加者同士の交流を図る。
	上鳥羽ミュージックサロン	音楽を聴きながら、参加者が音楽や地域のことなどを自由に語り合える場を提供することにより、参加者同士の交流や輪を広げ、今後の活動のきっかけづくりに繋げる。
	いきいきかるた大会	地域住民、各種団体、センター利用者の相互交流の場として「かるた大会」を実施する。今年度は、小学校と協力して「かみとばいろはかるた」を作成し、より一層の交流を図る。

上鳥羽南部	上鳥羽春の地域交流フェスティバル	地域団体，利用団体，地域が一体となって連携し，上鳥羽地域の活性化を目指した交流フェスティバルを行う。上鳥羽南部・北部いきセンの共催事業として実施する。
	いきいき夏祭り	利用団体や地域団体等の発表や模擬店により，施設利用者や地域住民との交流を図る。
	オータムミニコンサート&山ノ本児童館まつり	山ノ本児童館，近隣の保育所・中学校等と連携し，利用者や地域住民との交流を図るミニコンサートを開催する。
	京都おさんぽコレクション (吉祥院・上鳥羽北部・上鳥羽南部いきセン編)	13センターが連携し，6つのコースを巡るまち歩きを実施する。 テーマ：「いきセンがつなぐ歴史街道まち歩き～水害・食・芸能の歴史に迫る～」 水害・食・芸能をテーマに3箇所のいきセンを巡るまち歩き
	楽しもう！フラワーアレンジメント&楽気（らっきー）クリスマス会	地域の活性化や交流の輪を広げるため，児童館と連携したクリスマス会や，センター利用団体によるフラワーアレンジメント体験講座を開催する。
	上鳥羽南部ワイワイ・ガヤガヤふれあい広場	利用者や地域住民との交流を深めるとともに，センターの認知度を高め利用促進に繋げるため，利用者や地域団体，大学生等による演奏や発表会を行う「ふれあい広場」を開催する。
久世	久世いきセン体験講座	センター利用団体の活動を体験講座として開放し，活動の活性化に繋がるとともに，親子の交流や親睦を深める教室を実施することで，センターの認知度を高め，利用促進に繋げる。 ①フラワーアレンジメント講座，②親子向け工作教室
	久世いきいきサマーフェスタ（アート）	児童館と連携して，サマーフェスタを開催することで，地域交流・活性化に繋げる。 ①オルゴール鑑賞会，②ようこそアーティスト
	久世伝統ワークショップ・ECO教室	久世の伝統である「しめなわ」「手ぼうき」を地域の方が子ども達に教える体験講座を実施することで，地域の伝統を若い世代に伝えるとともに，多世代交流を図る。
	クリスマス会	保育所や児童館と連携し，地域住民や利用者との交流・親睦を深めるため，クリスマス会を開催する。
	いきセン祭り	センター利用団体が講師となって体験講座を実施することで，センターの利用促進や利用団体の支援に繋げる。
	ふれあいサロン祭り	高齢者ふれあいサロンで伝統芸能や手品など子どもから大人まで楽しめる事業を実施することにより，サロンの認知度を高め利用を促進するとともに，多世代交流に繋げる。

醍醐	だいがトレジャーハンター～醍醐のお宝めぐり～小栗栖編	平成25年度のトレジャーハンターで発掘した地域のお宝（資源）を巡り歩く。今回は小栗栖地域にスポットを当て、参加者にその魅力を知ってもらったり、地域の歴史サークルに活動の場を提供する。
	だいがサロン	「地域のために何かしたい・考えたい」という方々の最初の一步を踏み出すきっかけづくりの場を提供する。地域での課題やニーズを知るため、地域で活動されている方の話を聞き、自分たちにできる第一歩を語り合い、考える。
	だいがサタデーCafe「さたかふえ」	「地域のために何かしたい・考えたい」という方々の出会いと語りの場を提供する。平日開催の「だいがサロン」に参加できない新たな人材発掘を目的に、土曜日に開催する。
	だいがコ和ーキングスペース	「だいがサロン」の参加者や、まちづくり活動中の方に、センター職員やまちづくりアドバイザーによる個別相談会を開催するとともに、作業場を開放する。
	だいが生き活プロジェクト	昨年度実施した「だいがサロン」の参加者から成る「だいが生き活プロジェクト」が地域団体等と連携し、地域に密着した安心・安全マップの作成を通じて、地域の防犯・防災・コミュニティを考えるきっかけづくりを行う。
	プレママ&親子のほのぼの交流サロン	地域で活動している現役のママや、保育経験のあるボランティア等と連携し、孤立しがちな妊婦や産後の母親、親子の交流の場を提供する。
	わたしの第一歩	「だいがサロン」や醍醐支所との連携事業「おとなだいが塾」の参加者が、自ら事業を計画し実践する場を提供することで、地域活動への意識を高めてもらう。 ①冬のお楽しみ会、②だいが写真部、③空き家・相続まるわかり講座、④醍醐の歴史と暮らしを学ぶ会
	だいがコ和ーキングスペース 第2弾	「だいがサロン」の参加者や、まちづくり活動中の方、学生ボランティア等に、センター職員やまちづくりアドバイザーによる個別相談会を開催するとともに、作業場を開放する。
	だいがトレジャーハンター～醍醐のお宝めぐり～醍醐・北醍醐編～	平成25年度のトレジャーハンターで発掘した地域のお宝（資源）を巡り歩く。今回は北醍醐地域にスポットを当て、参加者にその魅力を知ってもらったり、地域の歴史サークルに活動の場を提供する。
	醍醐いきいきフェスタ 2015	センター利用者や地域の交流・ふれあいを図ることを目的に、各団体の発表会や活動紹介を行う。また、ボランティア団体として活動している大学生に企画段階から参加してもらうことで、地域との繋がりや活動意欲を高める。
京都おさんぽコレクション (左京東部・醍醐いきセン編)	13センターが連携し、6つのコースを巡るまち歩きを実施する。 テーマ:「平家物語～戦国絵巻～明治・昭和の足跡を辿る」 いきセン周辺地域の歴史資産を巡るまち歩き。	



伏見	子どもの居場所づくり事業	<p>市民活動団体や学生，中学校等と連携し，地域課題の一つである「子どもの居場所づくり」を行う。</p> <p>①関連施設・団体とのミーティング，②大学生と連携した自習室，③中学校と連携した自習室，④大学生と中学生の交流イベント，⑤講座</p>
	カイケツ実験型コミュニティガーデン①（伏見いきセン利用者交流企画）	<p>センター及びサロンの庭を活用し，一人暮らしの高齢者等つながりを求めている方の居場所をつくとともに，地域課題を参加者とともに考える場をつくる。</p> <p>①コミュニティガーデン作り，②植栽</p>
	伏見しみん大学プロジェクト	<p>市民活動団体や学生団体を対象に，活動への理解を促進し，支援者を増やすためのスキルアップを目的とした講座を開催する。</p>
	シニアの居場所づくり事業「〇〇さんの日」	<p>市民活動団体や学生と連携し，地域課題の一つである「高齢者の居場所づくり」を行うとともに，高齢者ふれあいサロンの利用者増加に繋げる。今回は参加者が主催する側にまわり，各種イベントを実施し，大学生等がサポートを行う。</p>
	学生事業課プロジェクト～カイケツ・テーブル	<p>これからの伏見を考える市民や学生，NPO，企業などが，相互の地域課題について気づき，学び，語らう場を設ける。</p> <p>①ワークショップ，②活動相談・相互解決の場を創出</p>
	市民提案型図書スペースプロジェクト	<p>昨年度実施した課題解決ワークショップでだされた「伏見に図書館が少ない」という意見に対応するため，「本」をテーマにしたスペースをセンター内に作り，各種イベントを参加者提案型で行う。</p> <p>①図書スペースの開設，②公開ミーティング，③本をキーワードにしたイベント</p>
	シニアの居場所づくり事業「お庭管理の達人プロジェクト」	<p>シニアが生涯現役として市民活動を展開できるスキルを身につけ，その後の活動につなげる取組を実施する。</p> <p>①植木剪定や庭造りの講座，②今後の活動につなげる交流会</p>
	大学生とつくるシニアの居場所づくり事業	<p>市民グループや大学生と連携しながら「シニアの居場所づくり」を実施する。</p> <p>①大学生との連携事業・シニア同士の交流事業，②「きょういく基地」1周年イベント</p>
	京都おさんぽコレクション （久世・伏見いきセン編）	<p>13センターが連携し，6つのコースを巡るまち歩きを実施する。</p> <p>テーマ：まちを楽しむ視点を学ぶ「まちの自然を楽しむ『まちくさ』ワークと，魅力発見まちあるき」</p> <p>「まちくさ博士」重本晋平さんを講師に自然・植物に着目したワークショップと，植物や様々なまちの魅力に気づくまち歩き。</p>